

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

石狩管内 江別市立大麻小学校

本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、修学旅行でウポポイを訪問し、博物館見学やアイヌの人たちの伝統芸能の鑑賞、係員へのインタビューを行うなど、アイヌの人たちの歴史や文化についての調べ学習を通して、アイヌの人たちの特色や文化、自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

アイヌの人たちの文化についての調べ学習を通して、アイヌの人たちの生活や歴史について理解するとともに、アイヌの人たちの思いや願いを考え、アイヌの人たちの文化やふるさとに関心をもって発言したり行動したりできるようにする。

取組の様子

（1）課題の設定

外部講師からアイヌの人たちの歴史・文化等についての説明を聞いた
り、工芸品や自然素材に実際に触れたりするなどして感じたことをもと
に、一人一人が学習課題を設定しました。



【外部講師による授業の様子】

（2）情報の収集

1人1台端末を活用した調べ学習を行うとともに、ウポポイを訪問し
て体験的活動をしたり、工芸品やアイヌの人たちが活用した自然素材を
見学したりすることにより、学習課題の解決に必要な情報を収集しました。



【ウポポイ見学の様子】

（3）整理・分析

収集した情報をもとに、アイヌの人たちの文化と自分たちの生活との
関わりについて整理するとともに、アイヌの人たちが、自然や生き物を
はじめ、身の回りのものに対して感謝の心を大切にしていることや、文
化や伝統を守って大切に受け継いできたことについて理解を深めました。

（4）まとめ・表現

学習の成果を一人一人が新聞としてまとめました。作成した新聞についてグループで交流する活動
を通してアイヌの人たちの歴史や文化について、自分の考えを広げたり深めたりすることができました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・個々の学習課題に合った方法が選択できるよう、道内の博物館のWebページやウポポイのバーチャル博物館を利用するなど、多様な情報収集の方法を指導しました。
- ・児童が、自分で調べた情報を交流し、多様な意見を共有できるよう、1人1台端末を活用してまとめの学習を行いました。

実践の振り返り

- ・一人一人が課題を設定し、探究的な学習を進め、アイヌの人たちの文化に触れたり、調べたりする活動を通して、ふるさとの歴史や文化について興味・関心を高め、ふるさとを大切にする心や誇り、愛情を育むことができました。
- ・学習内容をより充実させ、各教科等との関連をより一層図った教育課程を編成していくことにより、今後も継続してふるさと教育を行い、北海道への愛着や誇りを育むことが期待できます。